

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00091)

事務事業名称		アニメの振興と活用				款	03	項	05	目	01	事業	003	整理番号	100
現担当課名		産業振興センター		係名		観光係		連絡先電話番号		5347-9184		昨年度整理番号		102	
上位施策No・施策名										06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成12年度	実行計画事業		目標	02	施策	06	計画事業		05				
	平成30年度担当課名	産業振興センター										事業評価区分		一般	
	対象	区民、区外来場者、商店街関係者、アニメ産業関係者			根拠法令等		(1)		杉並区立杉並会館条例						
							(2)		杉並区公式アニメキャラクター使用取扱要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区内アニメ制作会社のアニメコンテンツや区公式アニメキャラクター「なみすけ」等を活用し、商店街等の活性化やにぎわいの創出を図る。			活動指標		指標名(1)		アニメーションミュージアムの年間開館日数						
						指標説明		「なみすけ」等の着ぐるみ延使用日数							
				指標名(2)		指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	アニメーションミュージアムを運営する。アニメを活かした商店街等の振興を図る。区公式アニメキャラクター「なみすけ」のPRと、使用料の無償化による商用利用を促進する。			成果指標		指標名(1)		アニメーションミュージアムの年間来場者数							
						指標説明		「なみすけ」商品化許諾件数							
				指標名(2)		指標説明									
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	日	302	303	303	303	306	304	101.0					
	活動指標(2)	2	日	115	130	112	120	108	120	90.0					
	成果指標(1)	3	人	53,014	60,000	59,861	70,000	69,674	80,000	99.5					
	成果指標(2)	4	件	47	50	43	50	38	50	76.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	91,883	90,763	88,982	85,622	83,327	88,702	平成30年度予算執行率(%)	97.3				
	(内)投資的経費等	6	千円	810	0	190	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	76,323	74,581	73,960	69,995	68,350	72,212						
	職員数	常勤職員数	8	人	2.24	2.00	2.66	2.40	2.76	2.40					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	19,179	17,124	22,852	20,618	23,256	20,222					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	2,971	2,971	2,944	2,944	3,089	3,089					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	114,033	110,858	114,778	109,184	109,672	112,013						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	374,911	365,868	378,178	360,343	358,405	368,464						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	324	3,333	3,123	3,333	2,971	3,123					
その他の補助金等		19	千円	1,619	645	527	369	346	369						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	1,943	3,978	3,650	3,702	3,317	3,492						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	112,090	106,880	111,128	105,482	106,355	108,521						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号	100		
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	アニメーションミュージアム運営業務委託			62,160
		アニメーションミュージアム建物総合管理委託			9,215
		他区連携事業			4,457
		なみすけの普及			1,888
		その他（アニメーションミュージアム著作権更新費、光熱水費の支出 ほか）			5,607
(2) 事業実績	<p>杉並アニメーションミュージアムでは、館内表示の多言語化を進める等、外国人来館者のへ対応を充実させました。また、アニメーションミュージアムと民間事業者等との連携による企画展のほか、中野区と連携した「アニメ・サブカル地域ブランディング事業」による集客イベントや情報発信を実施しました。これらの取組により、アニメーションミュージアムの総来館者数は69,674人、このうち外国人来館者数は8,259人となり、それぞれ開館以来、最高の来館者数となりました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成12年度に「アニメの杜すぎなみ構想」を策定し、アニメーションフェスティバルやアニメ匠塾（アニメーター人材育成事業）を実施すると共に、杉並アニメーションミュージアムを開設しました。平成22年度には「事務事業等の外部評価（杉並版「事業仕分け」）の結果を受け、一部事業を見直しました。平成30年度には、ネーミングライツを付与し「東京工芸大学 杉並アニメーションミュージアム」となりました。来館者数は、展示の充実や積極的な情報発信により、年々増加しています。「なみすけ」については、平成18年度に「すぎなみの輝き度向上」の一環で公募選定されました。平成25年度にはデザイン使用料を無償化し、商品化や地域団体等による無料頒布物の使用承認件数が増加する等、区内において高い認知度を得ています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>平成29年度に実施した「杉並区産業実態調査」において、杉並アニメーションミュージアムは区民の半数以上（59%）に認知されていましたが、そのうち約7割が「行ったことがない」と回答しています。今後、区外の来街者誘致と併せて、区民に親しまれる施設となるよう、内容の充実や出張ワークショップを介して地域に発信していきます。また、施設には駐車場がなく、最寄駅（荻窪駅）から徒歩15分を要する立地から、来館者から駐車場の確保について要望をいただいています。「なみすけ」に関しては、商用利用に係る民間事業者の多くが店舗を有しないため、販路拡大の相談をいただいています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>アニメは、世界に誇る日本の文化として外国人から特に高い評価を得ており、国内では、アニメ作品の舞台となった地域を巡る「聖地巡礼」が地域活性化につながるものとして、注目を集めるなど、アニメの振興と活用は、今後も全国各地で取り組まれるものと考えられます。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を機に、外国人をはじめ、多くの観光客を誘致する上で有用なコンテンツとなることから、杉並アニメーションミュージアムへの更なる来館者増に向け、展示内容や多言語化等の充実を図るとともに、アニメを活用した地域のブランド化を近隣自治体との連携から推進し、より広域での情報発信と多面的な事業を展開していきます。「なみすけ」については、区民に身近なキャラクターとして、引き続き積極的な活用を図ります。</p>			
	評価と課題	<p>杉並アニメーションミュージアムは、中野区との「アニメ・サブカル地域ブランディング事業」による連携事業等、他近隣自治体と積極的に連携を図り、広域的な情報発信を行うことで、来館者数が外国人を含めて過去最高を記録しました。またアニメワークショップの充実化を図り、楽しみながらアニメの仕組みや原理を学べる施設として、その価値を高めています。今後も展示や多言語化等の充実から観光資源としての価値を高め、更なる来街者の誘致を図っていきくとともに、アニメ制作会社や商店街、近隣自治体等との連携を深めながら、「アニメのまち杉並」として地域ブランディングを進め、地域のにぎわいの創出と活性化を進めます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>杉並アニメーションミュージアムは、当面の間は現施設で運営していくことから、現状の事業を基本として多言語対応や展示内容の充実を図っていきます。多言語対応について、中国語通訳の配置や、新たな多言語音声翻訳機の導入効果を検証し、外国人観光客受入れの更なる充実を図っていきます。また展示については、集客力のある企画展の実施に加え、アニメ制作会社と連携した企画展示を検討していきます。</p> <p>さらに、近隣自治体や民間事業者との連携から地域の資源である「アニメ」の魅力を広域に発信することで、地域のブランド化を推進し、来街者誘致に向けた取組を進めます。</p> <p>また、区公式アニメキャラクターなみすけを活用した観光資源の充実を通じて、杉並区への愛着を持ってもらうとともに、民間ベースでの商品利用等、積極的な活用を継続的に行っていきます。</p>				

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00644)

事務事業名称		観光促進				款	03	項	05	目	01	事業	004	整理番号	101				
現担当課名		産業振興センター		係名		観光係		連絡先電話番号		5347-9184		昨年度整理番号		103					
上位施策No・施策名											06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり		予算事業区分		既定事業				
事務事業の概要	事業開始		平成26年度		実行計画事業		目標 02		施策 06		計画事業 04		主要事業(区政経営報告書掲載事業)						
	平成30年度担当課名		産業振興センター										事業評価区分 一般						
	対象		区民、区外来街者(海外含む)、商店・事業者				根拠法令等		(1)		中央線あるあるプロジェクト実行委員会規約		(2) 東京高円寺阿波おどり振興事業補助金交付要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		杉並区の「良さ」「らしさ」を再発見し、地域の様々な資源を観光コンテンツとして区の内外に広く発信することで、区外からの来街者増を図り、持続的な「まちのにぎわい」や、チャレンジマインドのある商店・事業者の「商機」を創出する。				活動指標		指標名(1)		中央線あるあるプロジェクト新聞PR回数		指標名(2) すぎなみ学倶楽部掲載頁数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		中央線あるあるプロジェクトを推進する。観光事業補助を行う。(東京高円寺阿波おどり)すぎなみ学倶楽部を運営する。観光PR(観光情報発信事業、杉並体験ツアー、すぎなみ観光大使事業)等を推進する。フィルムコミッションを推進する。杉並ナンバーの周知・普及を図る。無料Wi-Fiの環境整備を行う。				成果指標		指標名(1)		共催イベント集客数		指標名(2) 高円寺フェスの来場者数 すぎなみ学倶楽部アクセス数 ページビュー数						
区分		単位		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成30年度							
				実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)					
指標	活動指標(1)		1 回		17		16		16		16		16		100.0				
	活動指標(2)		2 頁		246		192		268		168		220		131.0				
	成果指標(1)		3 人		180,000		180,000		100,000		180,000		210,000		116.7				
	成果指標(2)		4 件		558,944		630,000		613,897		640,000		627,401		98.0				
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		64,428		65,642		62,557		64,445		63,273		61,948		平成30年度予算執行率(%) 98.2		
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0		特記事項		
	(内)委託費		7 千円		16,662		18,131		16,251		17,258		16,892		16,974				
	職員数	常勤職員数		8 人		5.27		5.00		5.50		3.60		4.25		4.60			
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00			
		非常勤職員数		10 人		1.59		1.59		1.60		1.60		1.71		1.71			
	人件費	常勤職員分		11 千円		45,122		42,810		47,251		30,928		35,811		38,760			
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0			
		非常勤職員分		13 千円		4,724		4,724		4,710		4,710		5,282		5,282			
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		114,274		113,176		114,518		100,083		104,366		105,990				
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円		6,722,000		7,073,500		7,157,375		6,255,188		6,522,875		6,624,375				
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0			
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0			
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0			
その他の補助金等		19 千円		5,431		4,750		5,996		5,119		2,830		3,631					
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		5,431		4,750		5,996		5,119		2,830		3,631					
差引:一般財源(14-20)		21 千円		108,843		108,426		108,522		94,964		101,536		102,359					
受益者負担比率(16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号	101		
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		「にぎわい・商機」創出プログラム(中央線あるあるプロジェクト)			
		観光事業補助(東京高円寺阿波おどり)			2,000
		すぎなみ学倶楽部の運営			9,079
		観光PR(観光情報発信事業、すぎなみ観光大使事業等)			6,952
		その他(杉並ナンバーの周知・普及 ほか)			1,242
平成30年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>区内中央線4駅周辺の魅力を発信する「中央線あるあるプロジェクト」において、WEBやSNS、新聞・雑誌、観光ガイドブック等、多様な媒体で情報発信を行いました。また、区民ライターが区の魅力を紹介する「すぎなみ学倶楽部」の運営、高円寺阿波おどり等の魅力が体験できる「杉並体験ツアー」や海外現地での情報発信を行う「すぎなみ観光大使事業」の実施、プロポーザル選定事業者によるインフルエンサー(SNS等の情報発信において大きな影響力を持つ人)の活用や海外メディアへの働きかけにより区の観光情報を発信する「観光情報発信事業」などに取り組みました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成24年度に商店街振興を図る観点から都市観光事業の取組を開始しました。平成25年5月には「にぎわい・商機」創出プログラム「中央線あるあるプロジェクト実行委員会」を発足し、平成26年度には新たに専管組織(観光係)を設置しました。近年、訪日外国人旅行者は年々増加しており、平成30年の訪日外国人旅行者数は約3,119万人(対前年比約8.7%増)と過去最高を更新しています。さらに観光庁では訪日外国人旅行者数を令和2年に4,000万人、令和12年に6,000万人を目標に掲げています。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が目前に迫る中で、区が目指す「にぎわい・商機」の創出・上積みを図っていくため、インバウンドを見据えた観光事業を進めていきます。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>観光事業全般的に、近隣区市などから事業の内容やノウハウなどに関する問い合わせ等が寄せられています。とくに訪日外国人旅行者の増加に伴い、観光に対する需要が高まる中で、「中央線あるあるプロジェクト」に対して、様々な事業者から事業連携に関する問い合わせや相談が寄せられています。さらに、商店街イベントや集客力の高い店舗に関する新聞・WEB等を通じた情報発信、商店街との連携によるフラッグの掲揚を通じて、地域での「あるあるプロジェクト」の認知度が向上し、商店街からの依頼や連携の要請が寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が目前に迫る中で、国内外から東京を訪れる旅行者に大きな増加が見込まれます。区では、「東京高円寺阿波おどり」をはじめ、地域に根差した「杉並ならではの」魅力ある観光コンテンツを有しており、インバウンドを見据えた広域的な情報発信の充実により、「にぎわい・商機」を創出する好機となっています。この機を捉えて、より一層観光コンテンツの情報発信を行っていくとともに、「モノ(消費)」から「コト(体験)」へ変化している訪日外国人旅行者の志向に合わせ、新たな体験型の観光コンテンツの発掘・磨き上げに取り組み、今後も継続的な来街者の誘致を図っていきます。</p>			
評価と課題		<p>都内の主要な観光地に比べると、区内においては、大型の観光資源や宿泊施設が少ない状況にあります。こうした中で、「中央線あるあるプロジェクト」「観光情報発信事業」「すぎなみ観光大使事業」等を通して、区の魅力を積極的かつ多角的に発信することで、外国人旅行者を含む来街者の増につなげる事業を実施してきました。今後は、これらの取組の効果を可能な限り数値化した上で、「中央線あるあるプロジェクト」で実施した外国人観光客を対象とした動向調査の結果分析など多面的な検証のもと、より効果の高い事業を実施し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の終了後も継続して「にぎわい・商機」を創出していきよう、多様な媒体を活用した効果的な情報発信に努めるとともに、新たな観光資源の発掘・磨き上げに取り組んでいきます。</p>			
翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・実施主体の見直し			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、外国人旅行者を含む多くの訪都観光客の増加が見込まれる中、「中央線あるあるプロジェクト」や「すぎなみ学倶楽部」、「観光情報発信事業」等を通して、多様な媒体を活用した効果的な情報発信を実施することで、区への来街者の誘致につなげます。</p> <p>また、区を訪れた方の利便性の向上を図りつつ、「また来たい」と思わせる仕掛けづくりを、既存の資源の活用・組み合わせを基本に、新たな観光資源の発掘・開発していくことで創出していきます。さらに、民間ベースでの事業展開及び地元商店街との連携を基本とした、より戦略的かつ効果的な来街者の誘致に取り組みます。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表(1)

(00364)

事務事業名称		景観まちづくり				款	05	項	01	目	02	事業	003	整理番号	378						
現担当課名		みどり公園課		係名		みどりの計画係		連絡先電話番号		3593		昨年度整理番号		388							
上位施策No・施策名										06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり		予算事業区分		既定事業							
事業開始		平成元年度		実行計画事業		目標 02		施策 06		計画事業 03											
平成30年度担当課名		みどり公園課										事業評価区分		一般							
対象		区民、事業者、区				根拠法令等		(1)		景観法		(2)		都市計画法							
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		指標名(1)		景観新聞(景観録)の発行部数		指標説明										
	景観に対する区民の意識を高め、杉並らしい景観づくりに取り組む風土を醸成する。魅力あるまちなみを創出する。みどり豊かな杉並のまちを歩くことにより、新しいまちの魅力を見出し、まちに親しみを持つ人を増加させる。				指標名(2)																
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				成果指標		指標名(1)		杉並区のまちを美しいと思う人の割合		指標説明										
	景観条例、景観計画に基づく届出や事前協議等により、みどり豊かな美しい住宅都市を将来にわたり継承する。杉並景観録の発行や景観まちづくりイベントを開催する。史跡指定された荻外荘の建物一部公開イベントや荻外荘懇談会の運営により荻外荘の復原・整備に向けた機運醸成を図る。まち歩きのためのすざなみ景観ある区マップを発行する。				指標名(2)				区民意向調査による		指標説明										
区分		単位		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成30年度									
				実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)							
指標	活動指標(1)		1 部		6,000		6,000		6,000		17,500		17,500		291.7						
	活動指標(2)		2																		
	成果指標(1)		3 %		78.4		82.0		78.8		82.5		79.7		83.0		96.6				
	成果指標(2)		4																		
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		7,258		5,611		4,680		5,606		4,146		6,220		平成30年度 予算執行率(%)		74.0		
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0				特記事項		
	(内)委託費		7 千円		2,402		1,997		1,521		1,168		664		1,420				荻外荘懇談会の開催が2回から1回に変更になったこと、保存建物の調査研究委託が対象がなかったために未執行になったことで執行率が低くなっています。		
	職員数	常勤職員数		8 人		3.70		3.50		3.60		2.25		2.23		2.65					
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.10		0.00		0.00					
		非常勤職員数		10 人		0.50		0.50		0.50		0.50		0.50		0.00					
	人件費	常勤職員分		11 千円		31,679		29,967		30,928		19,330		18,790		22,329					
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		443		0		0					
		非常勤職員分		13 千円		1,486		1,486		1,472		1,472		1,545		0					
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		40,423		37,064		37,080		26,851		24,481		28,549						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円		6,737		6,177		6,180		4,475		1,399		1,631						
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0					
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0					
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0					
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		0		0							
差引:一般財源(14-20)		21 千円		40,423		37,064		37,080		26,851		24,481		28,549							
受益者負担比率(16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	378
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		すぎなみ景観ある区マップ「和田・堀ノ内編」等の発行・増刷	48,000	部	1,344
(2) 事業実績	荻外荘の建物利用検討				992
	杉並区景観計画等印刷請負	1,000	部	499	
	杉並景観録(第23号)の発行	17,500	部	372	
	その他(大規模建築物の優良な景観事例集の発行ほか)			939	
	<p>すぎなみ景観ある区マップの増刷を9地区48,000部作成しました。また、杉並景観録はみどりの新聞「みどりとひと」発行に合わせて17,500部作成し、町会の回覧版として周知するとともに窓口でも配布しました。</p> <p>荻外荘の復原・整備については(仮称)荻外荘公園基本構想等既往計画に基づき(仮称)荻外荘公園整備基本計画を策定しました。また、荻外荘建物内一部公開イベントを2回実施、荻外荘倶楽部会員向けに豊島区の荻外荘解体現場見学会を実施しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>事業開始当初から景観の普及啓発を主な事業として取り組んできましたが、平成21年度に景観行政団体となり、平成22年6月から杉並区景観計画の運用を開始し、景観法に基づく届出制度等による景観づくりを始めました。平成28年6月に社会情勢の変化等を踏まえ、杉並区景観計画及び杉並区景観条例の一部を改正しました。景観は、杉並のまちに魅力を感じる指標の一つとして考えられ、区民意向調査では杉並のまちを美しいと思う人の割合は7割を超え、着実に増加しています。荻外荘は、平成28年に国の史跡に指定され、平成30年度に(仮称)荻外荘公園整備基本計画を策定し、復原・整備を着実に進めています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>杉並の面影を伝える歴史的建物や貴重な樹木などを買い取って守れないかとの意見が寄せられます。荻外荘の復原・整備については、国の史跡でもあることから、区民だけではなく全国からも多くの人に支援してもらったらどうか、あるべき本来の姿へもどし、未来に残るものを作ってほしい等の意見があります。</p> <p>すぎなみ景観ある区マップについては、まち歩きに便利という好評価をいただいております。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>区民、事業者が自ら景観に関心を持ち、積極的に景観計画に取り組むことによって、杉並の面影を伝える歴史的建造物や貴重なみどりを守り、みどり豊かで美しい住宅都市を形成していきます。また、すぎなみ景観ある区マップなどを通して区内を散策することでまちに関心を持ち、杉並区の良好な景観づくりに積極的に取り組むようになります。</p>			
	評価と課題	<p>「大規模建築物の優良な景観事例集」を発行し、景観計画を区民にわかりやすく紹介するなどの取り組みを通じて、良好な景観づくりについての普及啓発を図りました。</p> <p>荻外荘については、復原・整備に向けた基本設計に入るなど公開までのスケジュールが具体的にになり、機運醸成(荻外荘の認知度の向上、「荻外荘ファン」の拡大、寄附金の増加等)を図る必要があります。さらに、大田黒公園、角川庭園など近隣の庭園との回遊性を向上させ、魅力ある観光資源をハード・ソフトの両面から整備し、歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくりを推進していかなければなりません。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>荻外荘の復原・整備については平成30年度に(仮称)荻外荘公園整備基本計画を策定し、今後のスケジュール等が具体的にになったことから、荻外荘の復原・整備に向けた整備や機運醸成の強化などを計画的に図る必要があります。特に、荻外荘の認知度の向上としてわかりやすい情報発信、荻外荘の関心を持ってもらうため関連イベントの実施、復原・整備の「見える化」、荻窪にある三庭園(荻外荘、大田黒公園、角川庭園)の魅力を生かし、回遊性を高めるためのイベント等により機運醸成を図ります。また、荻外荘の復原・整備に参加してもらったため、区内外の方に支援を幅広くお願いする寄附金募集の強化を図ります。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00368 ）

事務事業名称		都市再生事業				款	05	項	01	目	02	事業	007	整理番号	382						
現担当課名		市街地整備課		係名		荻窪まちづくり担当係		連絡先電話番号		3382		昨年度整理番号		392							
上位施策No・施策名											06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり		予算事業区分		既定事業						
事務事業の概要	事業開始		平成23年度		実行計画事業		目標 02		施策 06		計画事業 01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）								
	平成30年度担当課名		市街地整備課										事業評価区分 一般								
	対象		荻窪駅周辺地区				根拠法令等		(1)		都市計画法、都市再開発法										
									(2)		杉並区まちづくり基本方針、杉並区まちづくり条例										
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		杉並区が「住宅都市」としての価値をさらに高めていくためには、区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺地区の活性化が不可欠である。地域特性を活かした商業の活性化や生活利便性の向上などを図り、にぎわいや魅力あるまちづくりを進める。				活動指標		指標名（ 1 ）		地元住民や各種団体、関係事業者等との打合せ回数										
										指標説明		普及啓発活動等の回数									
												指標名（ 2 ）									
														指標説明							
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		「住宅都市杉並」にふさわしい荻窪駅周辺地区のまちづくりを進めるために、まちの課題等を整理・共有するとともに、地域住民との協働により、まちづくりに対する機運の醸成を図り、将来のあるべき姿を描くための検討を進める。地域住民との協働により、荻窪駅周辺地区の特性を活かしたまちづくりを進める。南北分断の解消と都市機能の更なる強化に向けて幅広い観点から検討を行い、国や都、鉄道事業者等と協議・調整をしながら、まちづくりを進める。				成果指標		指標名（ 1 ）		駅周辺まちづくり計画等の策定数											
														指標説明		平成23年度からの累計策定数					
														指標名（ 2 ）							
														指標説明							
区分		単位		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平成30年度									
				実績		計画		計画 (目標値)		実績		計画		対計画比(%)							
指標	活動指標（ 1 ）		1 回		16		18		35		37		24		24		64.9				
	活動指標（ 2 ）		2 回		3		2		1		2		2		1		100.0				
	成果指標（ 1 ）		3 件		0		1		1		2		2		4		100.0				
	成果指標（ 2 ）		4																		
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		15,910		12,132		10,575		15,411		14,778		16,262		平成30年度 予算執行率(%)		95.9		
	(内) 投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0		特記事項				
	(内) 委託費		7 千円		13,282		8,875		7,613		12,680		12,182		13,137						
	職員数	常勤職員数		8 人		3.63		3.00		3.68		3.00		2.47		3.00					
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00					
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00					
	人件費	常勤職員分		11 千円		31,080		25,686		31,615		25,773		20,812		25,278					
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0					
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		0		0					
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		46,990		37,818		42,190		41,184		35,590		41,540						
	単位当たりコスト (14-6)÷1		15 円		2,936,875		2,101,000		1,205,429		1,113,081		1,482,917		1,730,833						
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0					
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0					
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0					
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		0		0							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		46,990		37,818		42,190		41,184		35,590		41,540							
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							

令和元年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	382
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		荻窪駅周辺都市総合交通戦略策定調査委託	1	件	12,020
		その他(管理経費、消耗品購入費ほか)			2,758
	(2) 事業実績	<p>地域住民の方々を主体とした「荻窪まちづくり会議」から提案のあった「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」を踏まえ、区としてのまちづくり方針を平成29年4月に策定・公表しました。その具体化に向けて、荻窪駅周辺における総合的な交通のあり方やハード・ソフト面の取組などについて、交通事業者等と連携し、「荻窪駅周辺都市総合交通戦略」を策定しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>区内最大の交通結節点荻窪駅周辺のまちづくりに取り組み、魅力を高め、杉並全体を牽引していくことで、住宅都市としての発展を目指していく事業として、地域の特徴と課題を明らかにしました。地域住民の方々より「荻窪駅周辺地区まちづくり構想(平成27年度)」の提案を踏まえ、まちの将来像・目標を定め、テーマ別、エリア別に実現に向けた取組を示した「荻窪駅周辺まちづくり方針(平成28年度)」定め、その実現を図るために「荻窪駅周辺都市総合交通戦略(平成30年度)」を策定しました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>鉄道や幹線道路等による南北分断の解消や、駅及び駅周辺の交通機能や利便性の向上などが挙げられる一方、良好な住環境については、維持・保全を求める声も多くあります。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>「荻窪駅周辺まちづくり方針」に掲げる交通関連の取組と連携した総合的・一体的なまちづくりの推進は、駅前大規模商業施設の機能更新時期や周辺街区での共同建替えなどの機会を捉え、中長期的な取組として進めることとなりますが、「荻窪駅周辺都市総合交通戦略」に示した施策の実施工程表に対する期待と関心が高いことから、施策実施後には適切な評価をし、その結果に基づく柔軟な見直しを図り、推進管理を行います。</p>			
	評価と課題	<p>荻窪駅周辺まちづくり方針の具体化を図るため、荻窪駅周辺都市総合交通戦略を策定しましたが、戦略の推進に向け、事業主体と実施時期を明確にするとともに、事業主体となる関係者が相互に連携し、総合的・一体的に取り組む必要があります。そのためには、関係者と継続的に意見交換及び連絡調整を行うことにより情報の共有化を図るとともに、PDCAサイクルに基づいた、施策の推進管理を進めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>「荻窪駅周辺まちづくり方針」の具体化に向けた荻窪駅周辺都市総合交通戦略の推進には、区、地域の方々、交通管理者、交通事業者等が、目標を共有し、一丸となって取り組む必要があります。南北分断の解消と駅及び駅周辺の交通機能や利便性の向上に向けた分科会を設置に向けて、調査・検討をしていきます。併せて、乗換経路の改善を目指す案内サイン整備基本ルールに基づく(仮称)案内サイン整備基本計画の策定及び荻窪駅周辺の歴史的・文化的資源を生かした回遊性向上アクションプランに基づく(仮称)まちのデザインルールの策定を行います。</p>			

令和元年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00369 ）

事務事業名称		多心型まちづくりの推進				款	05	項	01	目	02	事業	008	整理番号	383
現担当課名		市街地整備課		係名		拠点整備係		連絡先電話番号		3383		昨年度整理番号		393	
上位施策No・施策名										06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和44年度	実行計画事業 目標 02 施策 06 計画事業 02			主要事業（区政経営報告書掲載事業）									
	平成30年度担当課名	市街地整備課				事業評価区分 一般									
	対象	区民及び駅周辺地域来訪者再開発事業などの民間再開発を行おうとする者 鉄道事業者				根拠法令等	(1) (2)		都市計画法、都市再開発法						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	駅周辺地域を中心に、地域特性を活かしたにぎわいと多彩な魅力のあるまちづくりを進める。 民間再開発事業等を支援する。				活動指標	指標名（ 1 ） 指標説明		駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	ハード施策とソフト施策の連携を強化し、地域特性を活かしたまちづくりを推進する。 まちづくりの相談や指導を通して、地権者の組織化等の活動を支援する。 助成制度を活用し、民間再開発事業の活動を支援する。				指標名（ 2 ） 指標説明			駅周辺まちづくりに関するニュース等の発行回数						
区分		単位	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	平成30年度						
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（ 1 ）	1	回	8	8	8	8	7	5	87.5					
	活動指標（ 2 ）	2	回	2	2	2	1	1	2	100.0					
	成果指標（ 1 ）	3	件	0	1	1	1	0	1	0.0					
	成果指標（ 2 ）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	8,656	15,787	12,607	14,759	9,716	16,507	平成30年度 予算執行率(%)	65.8				
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内) 委託費	7	千円	6,897	11,741	10,782	9,634	8,446	13,139	「ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくり」について、地区ごとに情報共有や課題対応等を図りましたが、予算を要する内容の取組みが少なかったこと。また、駅周辺まちづくりでの業務委託の落差金等が発生したことから、執行率がやや低くなっています。元年度計画は新たに富士見ヶ丘駅周辺まちづくりの事業費が500万円加算されているため、事業費が増えています。					
	職員数	常勤職員数	8	人	3.37	3.00	3.44	3.00	3.26	3.00					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	28,854	25,686	29,553	25,773	27,469	25,278					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	37,510	41,473	42,160	40,532	37,185	41,785						
	単位当たりコスト (14÷6)÷1)	15	円	4,688,750	5,184,125	5,270,000	5,066,500	5,312,143	8,357,000						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	37,510	41,473	42,160	40,532	37,185	41,785						
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

令和元年度杉並区事務事業評価表（２）

				整理番号	383
平成30年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		中杉通り沿道交通量等分析及びまちづくり検討支援業務委託	1	件	2,700
		西荻窪駅周辺まちづくり懇談会運営等支援業務委託	1	件	4,148
		駅周辺まちづくり(桃園川緑道公衆トイレ改修・荻窪駅案内板改修)	1	件	894
		観光まちづくりトークイベントの開催	1	回	1,599
		その他(事務費ほか)			375
(2) 事業実績	<p>中杉通り沿道の安全・快適で魅力的なまちづくりの具体化に向けて、将来交通量等の推計や荷捌き対策のシミュレーションを実施しました。西荻窪駅周辺まちづくり方針策定に向けて、地元へのアンケート、町会・自治会長及び商店会長にヒアリングを実施し、検討対象区域の住民を対象に、懇談会を2回開催しました。富士見ヶ丘駅周辺のまちづくり方針策定に向けて、庁内に検討組織を立ち上げ、現状の把握や課題の洗い出しを行いました。更に、ハード・ソフトの連携による駅周辺まちづくりでは、桃園川緑道公衆トイレ改修と荻窪駅北口案内板修繕を行いました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>事業開始当初は、駅舎の橋上化や市街地再開発事業等に代表される駅周辺整備を事業の中心にしていました。現在は、それらハード面での整備に加え、ソフト面で連携していくまちづくりの取り組みにより、各地区の特性や課題に応じたまちづくりを進めています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>市街地再開発事業において、事業施行者から、事業推進に向けた助成金の拡充を望む声があります。その一方で、再開発事業の実施は、周辺地域に様々な変化が起こることが予想されるため、近隣住民からは、再開発によるまちづくりに対する期待もありますが、住環境等に及ぼす影響が大きいとの意見があります。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>マンション等の老朽化が進みつつあり、今後はマンションの建替え等の課題がより顕在化することが予想されます。また、近年の建設費の高騰等により、市街地再開発等の事業を取り巻く環境は厳しくなっていくことが予想されます。今後は、まちづくり方針に基づき、地域住民の意見を把握し、地権者等との意見交換を重ねながら、駅周辺整備と共同建替え等の手法の検討を行い、ハード面とソフト面の取り組みが一体となったまちづくりを進めていきます。</p>			
評価と課題	<p>中杉通り沿道の安全・快適で魅力的なまちづくりの具体化に向けて、今後、将来交通量等の推計や荷捌き対策のシミュレーションの実施結果について、分析を行い、道路管理者や地元商店会などの関係者と意見交換を進めていきます。西荻窪駅周辺まちづくりでは、地域の方々を対象とした懇談会を実施し、まちの特徴や課題、将来像について、意見の把握を行うことができました。今後は、把握した様々な意見について具体的に議論を深めていきます。富士見ヶ丘駅周辺まちづくり方針策定に向けて、コンサルタントを導入して、地域の意向や動向の把握に努めていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>富士見ヶ丘駅周辺まちづくりでは、元年度におけるコンサルタント委託による、地域の特徴や課題、将来像などに対する地元意見の把握状況を踏まえ、地域からの要望や課題等を的確に捉えたまちづくり方針の策定を進めます。阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針の具体化に向けた取り組みとして、中杉通り沿道の安全・快適で魅力的なまちづくりの実施に向け、課題の洗い出しを行うとともに地域や関係機関と連携し、検討を進めていく必要があります。西荻窪駅周辺まちづくりでは、懇談会の継続的な開催を通じて、更に地域のまちづくりへの機運を高め、翌年度のまちづくり方針の策定へ向け、地域を主体としたまちづくり構想の取りまとめと、区への提案を進めます。</p>				